

## 国内クレジット制度、オフセット・クレジット（J-V E R）制度参加事業者等に対するアンケート調査について（案）

### 1. 目的

- 新クレジット制度の在り方を検討するに当たり、現行制度に参加している事業者の声を聞くことは、現行制度の評価及び具体的な改善点を明確にするという点から不可欠であり、できるだけ広く意見を聞くことが重要。
- 両制度の事業を合計すると1, 000を超える事業がすでに登録されており、より多くの意見を聞く機会を設ける観点から、アンケート方式による調査を行う。

### 2. 対象者

- アンケート調査対象は、以下のとおり。

#### <国内クレジット制度>

- ・ 排出削減事業者
- ・ 共同実施者
- ・ 審査機関

#### <J-V E R制度>

- ・ プロジェクト実施事業者
- ・ J-V E R購入者
- ・ 妥当性確認・検証機関

### 3. 手法

- アンケート調査の手法については、メールによるアンケート又はインターネット上でのアンケートのいずれかとする。
- 調査対象者には双方の様式を送付し、回答方法は調査対象者の選択に委ねることとする。

### 4. アンケート内容

- 質問項目（案）は以下のとおり。なお、質問項目が多いと回収率が下がるため、10分程度で終了するもの（10問以内）に止める。  
（※は国内クレジット制度参加事業者のみ）
- なお、アンケートに当たっては、国内クレジット制度における排出事業者及び共

同実施者、J－VER制度におけるプロジェクト実施事業者及びJ－VER購入者ごとに関係する質問項目のみを送付する。

### ＜【排出削減事業者／プロジェクト実施事業者】向け＞

- (1) 【国内クレジット制度／J－VER制度】を知ったきっかけは何ですか。
- ① 【国内クレジット制度／J－VER制度】に関する説明会やセミナー
  - ② 補助金説明会等【国内クレジット制度／J－VER制度】以外に関する説明会やセミナー
  - ③ ソフト支援事業者からの紹介
  - ④ 付き合いのある事業者等からの紹介
  - ⑤ 新聞記事
  - ⑥ 【国内クレジット制度／J－VER制度】ホームページ
  - ⑦ 同業者、知人
  - ⑧ その他（具体的に）
- (2) 【国内クレジット制度／J－VER制度】に参加することを決めた理由は何ですか。（複数回答可）
- ① クレジットを売却することによる収益が得られるから
  - ② 環境に優しいことをしているというPRを行うことができるから
  - ③ 省エネ効果の高い機器を導入することができ、エネルギー代などのランニングコストが下がるから
  - ④ 手続きに費用・手間がかからないから
  - ⑤ その他（具体的に）
- (3) 【国内クレジット制度／J－VER制度】に参加したことにより実際に得られたメリットは何ですか。（複数回答可）
- ① クレジットを売却したことによる収益
  - ② 環境に優しいことをしているというPR効果
  - ③ エネルギー代などのランニングコストが低減
  - ④ CSR活動等としてマスコミや事例集に取り上げられた
  - ⑤ 大企業等クレジット購入者とのコネクション
  - ⑥ 特にない
  - ⑦ その他（具体的に）
- (4) 【国内クレジット制度／J－VER制度】において不便な点は何ですか。（複数回答可）
- ① 事業計画を作成するのに手間がかかる（※ソフト支援事業者へのデータ提供を含む）

- ② データを集める手間がかかる（※ソフト支援事業者へのデータ提供含む）
- ③ 事業の【承認／登録】や認証に時間がかかる
- ④ 【共同実施者／クレジットの買い手】をみつけるのが困難
- ⑤ クレジットの価格が安い
- ⑥ 【J－VER制度／国内クレジット制度】との違いがわかりにくい
- ⑦ 特にない
- ⑧ その他（具体的に）

（5）ソフト支援事業者の支援を受けた場合、ソフト支援事業者からプロセスや内容について十分な説明がありましたか。（はい／いいえ）

（6）2013年度以降に新たなクレジット制度が運用された場合、再度事業者として参加する意向はありますか。（はい／いいえ）

（7）2013年度以降の制度に対して、ご意見、ご要望があれば自由に記述をお願いします。（複数行自由記入欄）

#### ＜【共同実施者／J－VER購入者】向け＞

（1）【国内クレジット制度／J－VER制度】を知ったきっかけは何ですか。

- ① 【国内クレジット制度／J－VER制度】に関する説明会やセミナー
- ② ソフト支援事業者からの紹介
- ③ 付き合いのある事業者等からの紹介
- ④ 新聞記事
- ⑤ 【国内クレジット制度／J－VER制度】ホームページ
- ⑥ その他（具体的に）

（2）【共同実施者になること／J－VERを購入すること】を決めた理由は何ですか。（複数回答可）

- ① 自主行動計画の目標達成に活用するため※
- ② 温対法の報告に使用するため
- ③ 自社製品や自社の活動のオフセットに使用するため
- ④ CSR活動としてPRできるから
- ⑤ 信頼性の高いクレジットを活用することで他者との差別化を図れると考えたから
- ⑥ クレジットを転売することによって利益を得られると考えたから
- ⑦ クレジット発行元の地域・企業を応援したいと考えたから
- ⑧ クレジット価格が安かったから

- ⑨ 【国内クレジット／J－VER】を紹介されたから
- ⑩ その他（具体的に）

(3) 【共同実施者になった／J－VERを購入した】ことにより実際に得られたメリットは何ですか。（複数回答可）

- ① 自主行動計画や試行スキームの目標達成に活用できた※
- ② 温対法（や省エネ法）の報告に活用できた
- ③ クレジットを売却したことによる収益が得られた
- ④ 自社製品の販売促進につながった
- ⑤ 環境に優しいことをしているというPRができた
- ⑥ 地域活性化に貢献できた
- ⑦ CSR活動等としてマスコミや事例集に取り上げられた
- ⑧ 特にない
- ⑨ その他（具体的に）

(4) 【国内クレジット制度／J－VER制度】において不便な点は何ですか。（複数回答可）

- ① 1件あたりのクレジット量が少ない
- ② 移転や【償却／無効化】のための手続きが煩雑
- ③ 転売先を見つけるのが困難
- ④ クレジット価格が高い
- ⑤ クレジットを活用できる仕組みが少ない
- ⑥ 【J－VER制度／国内クレジット制度】との違いがわかりにくい
- ⑦ その他（具体的に）

(5) 2013年度以降に新たなクレジット制度が運用された場合、再度【共同実施者として参加／クレジットを購入】する意向はありますか。（はい／いいえ）

(6) 2013年度以降の制度に対して、ご意見、ご要望があれば自由に記述をお願いします。（複数行自由記入欄）

#### <【登録審査機関/妥当性確認・検証機関】向け>

(1) 現在、ISO14065の認定を受けている、又は申請を行っておりますか。

（はい/いいえ）

(2) (受けている、又は申請を行っている場合) 認定を受けようと考えた理由は何ですか。

- ① 認定を受けることで審査の信頼性が高まると考えたから
- ② J-V E R制度で要件とされていたから
- ③ その他（自由記述）

(3) (認定を受けていない場合) 認定を受けていない理由は何ですか。

- ① 審査業務を行う上で必要性を感じないから
- ② 費用がかかるから
- ③ その他（自由記述）

(4) 2013年度以降の制度において、ISO 14065の認定を受けることを登録要件にした場合、考えられるメリット、デメリットについてご意見がありましたらご記入願います。

(5) 2013年度以降の制度において、登録の際に、審査可能なスコープ（対象ガス、事業種類）を設けることについて、ご意見がありましたらご記入願います。

(6) 国内クレジット制度における事業の審査及び実績確認を行うに当たり、不便な点は何ですか。また、2013年度以降の制度に引き継ぐべきと思われる点は何ですか。

(7) J-V E R制度における事業の妥当性確認及び検証を行うに当たり、不便な点は何ですか。また、2013年度以降の制度に引き継ぐべきと思われる点は何ですか。

(8) 2013年度以降の制度に対して、ご意見、ご要望があれば自由に記述をお願いします。

以上